

基礎経済科学研究所

大阪第三学科(金融流通協同組合論ゼミ)からのたより

[第906回ゼミ報告] 2025年7月18日号

これまで名前も知らなかった政党が乱立、外国人へのデマ、SNSでフェイクが拡散、これが今の日本の現状か！ さて参議院議員選挙の結果は……

7月9日ゼミは、グレーバー『万物の黎明』第5章「いく季節もむかし」の後半(p.210~)を斎藤さんの報告で行いました。奴隷制が西海岸でつながら要素を観察できるが、古代ギリシア・ローマの家内奴隷制とは異なり、またヨーロッパ人によるプランテーション奴隷制とも異なり、アメリカ大陸の先住民では稀な制度である。奴隷は軍事的侵略の産物であることが多く、奴隷を育て上げるのは経済的に見合わない。奴隷の唯一の義務は主人の命令を正確に遂行することある。奴隷の捕獲を独自の制度とみなしていた。奴隷狩り・奴隷の家畜化は歴史上あらゆる場所で搾取される人々の共通した状況である。北西海岸では動産奴隷制が普及したが、カリフォルニアでは例外的である。北西海岸で奴隷制度が普及し、南方では奴隷制度がなかったことには、もっと説明が必要である。北西海岸の集落では世襲奴隷が人口の4分の1を占め、これは本格的な奴隷社会であり、不自由労働が地域経済を支え、貴族・平民を支えている。奴隷制が北西海岸で普及したのは、野心的貴族が自分の自由な臣下たちを従属労働に従わせることが出来ないことに由来する。北カリフォルニアの人々は、他の集団からの暴力的広がりから自己防衛できる制度を作る必要性を自覚するようになった。世界の一部の地域、一部の時代、一部の場所で類似した社会の組織法が現れた可能性は高い。奴隷制の起源は戦争にあるが、最初はドメスティックな制度であった。歴史的にみれば、ヒエラルキーと平等は互いに補完しあう形で同時に出現する傾向にある。討論では、中間地帯の問題として、拡大を阻止し、平等主義政治、民主的な立ち位置で、政治制度を自覚的に選んでいた。ヴェバーによれば国民はプロテスタントかカトリックか選択するもの。対してマルクスは「われわれはみずからの歴史をつくるとはいえ、自分の選択した条件のもとではない」会場参加は川口さん・山口さん・松村さん・高田、オンライン参加は斎藤さん・竹内さん・後藤さん・田中さんの合計8名の参加でした。

* 7月23日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 839 0879 6220 パスコード: 195833

* 基礎研・秋季研究大会が9月14日(日)・15日(月・祝)に、立命館大学びわこ・くさつキャンパスで開催、会場・オンラインでのご参加を！

***** ゼミ日程 *****

7月23日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

佐々木『マルクス 資本論』1編 2章 交換過程 報告・田中さん

9月10日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

グレーバー『万物の黎明』6章 アドニスの庭・不発の革命 報告・後藤さん

9月24日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

佐々木『マルクス 資本論』第3章 貨幣または商品流通 報告者未定

その後 10/8, 10/22, 11/12, 11/26, 12/10, 12/24

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso